

# 告知板

## 新卓球「ラージボール」の北海道大会が開催されます

近年、中高齢者の中で人気の、「新卓球」といわれる「ラージボール卓球」の全道大会が開催されます。

文字通り通常のボール(40ミリ)より大きい(44ミリ)ボールのため、スピードが遅いという大きな特徴から、ラリーを楽しむことが人気の秘訣となっています。

シングルスは、49歳以下、50歳、60歳、65歳、70歳、75歳以上の各種目と、ダブルスは、二人の年齢を加えた種目として、119歳以下、120歳、130歳、140歳以上に分かれており同じ条件で競う混合ダブルスもあります。

本大会には、地元選手をはじめ全道各地から200人を越える精鋭が集い、入賞と親睦とのバランスを備えながらの好プレー、珍プレーが見られそうです。

皆さんの観戦をお待ちしています。

大会日時 9月18日(土) 9:00 開会式  
19日(日) 9:00 開始  
会場 総合体育館(富士見4丁目)

## 募集します...

### 短期「何でもスポーツ教室」

スポーツ種目を限定しないいろいろなスポーツを楽しみながら健康体力と仲間づくりを進めるスポーツ教室です。

1年間では長すぎるとのニーズに応じて、3ヶ月の短期「何でもスポーツ教室」を次のとおり募集いたします。

- ◇期間 平成22年12月までの10回
- ◇活動日時 毎週水曜日午後6:30~8:30
- ◇会場 緑体育館
- ◇受講料 3,000円

## ふおとめもい〜



①北海道クラブカップバレーボール大会

②北海道中学校柔道大会

■**誠(まこと)**  
学生時代は、サッカーや卓球を屋内外問わずなんでもできる学生で、社会人になってからも、バレーボールやソフトボールとなんでもできたことを何気んにアピール。

■**妻・美穂(みほ)**  
中学校時代にバスケットボールで、全道大会でベスト8まで勝ち上がったことを猛烈にアピール。

■**長女・愛梨(あいり)**  
看護専攻科2年生。中学校から母の影響でバスケットボールをはじめ、今は看護師になるため勉強中。

■**長男・竜輔(りゅうすけ)**  
高校1年生。稚内大谷高校のバスケットボール部に所属し、小学校4年生からはじめたバスケットボールに夢中。

■**次女・楓菜(ふうな)**  
中学1年生。稚内中学校バスケットボール部に所属し、全道大会出場を目標に猛練習中。

■**次男・杏輔(きょうすけ)**  
小学校4年生。お兄ちゃんにバスケットボールを教えてもらい、早く中学生になって、バスケットボール部に入りたいバスケットボール少年。

■**誠さんからのコメント**  
子供たちには、大好きなバスケットボールを楽しく一生懸命がんばって欲しいです。

## SHIPS交流大会のご案内

### 第12回稚内市スポーツ少年団

SHIPS交流大会のご案内  
とき 10月11日(月:体育の日)  
ところ 総合体育館アリーナ

スポーツ少年団、指導者、育成母集団が、「体育の日記念事業」として開催する、恒例のSHIPS交流大会は次のとおり開催されます。

昨年の11回大会は、新型インフルエンザ蔓延の影響で、やむなく中止されたことから、今年は2年ぶりの大会とあって、スタッフ一同張り切っています。少年団員、指導者、育成会員の参加をお待ちいたします。

### 団員を代表して参加しました

(財)日本体育協会日本スポーツ少年団が主催する、2つの国際交流事業に、稚内市スポーツ少年団を代表して、スポーツ少年団リーダー会から2人のリーダーが参加しました。

今後国際交流で培った知識や体験を活かして益々活躍されることを期待します。

#### ◆第37回 日独スポーツ少年団同時交流

期間 7月20日~8月11日 21泊23日

派遣先 ドイツ連邦共和国

派遣者 鈴木祥平君(稚内高校2年)

#### ◆2010年 日中青少年

スポーツ団員交流

期間 8月8日~8月14日

6泊7日

派遣先 中華人民共和国

(江蘇省)

派遣者 遠藤 風菜さん

(潮見が丘中学校3年)



(左)鈴木祥平君 (右)遠藤風菜さん

## 一口メモ

### ●ラグビーの監督が観客席にいるのはなぜ?

ラグビーの監督が観客席で、試合の成り行きを心配そうに見ているのは、独特の「ラグビー精神」からだといわれています。

厳格なアマチュアリズムや、ノーサイドという言葉に象徴されるフレンドシップ精神、中でも「キャプテンシー」(チームを率いるキャプテンとしての資質、能力)を非常に大切にすることが、ラグビー精神の最も大きなものといわれています。つまり、一度ゲームが始まったら選手自身が責任を持ってプレーすること。作戦の指示などは選手の代表であるキャプテンが行うということで、あくまでも選手の自主性、主体性を重んじるスポーツなのです。試合が始まってしまえば、監督は一切の口出しができないということなのです。《雑学バンザイから引用》

## われらスポーツ家族の輪



⑬ 金内

誠さん一家  
(敬称略)

家族でスポーツに取り組み、楽しんでいてスポーツ家族の輪をつないでまいります。  
今号では、前号の「森江勝美」さんから紹介のあった「金内 誠さん一家」です。